

様式第1号(第4条関係)

年 月 日

空き家有効活用家賃補助金認定申請書

(あて先)小松市長

申請者 住所

(フリガナ)

氏名

印

電話

空き家有効活用家賃補助金制度要綱の対象となる住宅の認定を受けたいので、空き家有効活用家賃補助金制度要綱第4条の規定により申請します。

賃貸住宅詳細	空き家・空き室バンク登録番号			
	賃貸住宅管理者			
	契約日	年 月 日	家賃	円/月
	契約期間	年 月 ~ 年 月		
奨励金認定に必要な税関係情報の記録, 住民記録および他制度との併願申請等を市長が調査することに同意します。				

添付書類

1. 建物賃貸借契約書の写し

2. 住民票(世帯全員)

※空き家・空き室バンク登録物件に転居後のもので、続柄の記載が必要です

※法人による申請の場合は不要です

3. 空き家有効活用家賃補助金に係わる覚書(別紙)

4. その他市長が必要と認める書類

(別紙)

空き家有効活用法賃補助金に係わる覚書

(あて先) 小松市長

私儀、今般、空き家有効活用法賃補助金制度の利用にあたり、町内コミュニティ組織の形成の促進のため、地域における安全で安心な住みよいまちづくりに関する活動に対して、既存のコミュニティ組織に加わることを、本制度の要綱第3条の規定により、当該空き家に3年以上居住又は使用することを約束します。

また、契約の変更や解約を行う場合は、事前に届け出る事を約束します。

年 月 日

申請者 住所

氏名 印

電話

年 月 日

空き家有効活用家賃補助金変更申請書

(あて先)小松市長

申請者 住所

(フリガナ)

氏名

印

電話

年 月 日付で認定を受けた事項について変更が生じたので、空き家有効活用家賃補助金交付要綱第10条の規定により、必要な関連書類を添えて届出します。

申請内容の一部に変更が生じた場合は、下表で該当する変更の内容を記載してください。

賃貸住宅詳細	空き家・空き室バンク登録番号			
	賃貸住宅管理者			
	契約日	年 月 日	家賃	円/月
	契約期間	年 月 ~ 年 月		

添付書類

1. 変更内容の分かるもの

空き家有効活用家賃補助金交付申請書

(あて先)小松市長

申請者 住所

(フリガナ)

氏名

印

電話

空き家有効活用家賃補助金の交付を受けたいので、空き家有効活用家賃補助金制度要綱第8条の規定により申請します。

転入(転居) 開始年月日	年 月 日 ~	申請回数 該当回数に○→	1回目・2回目・3回目
交付申請月 (12ヶ月分)	年 月 ~ 年 月		
交付申請額 (12ヶ月分)	家賃 (円/月) × 1/2 =		=①
	①か限度額5,000円/月のどちらか少ない方→		=②
	② × 12ヶ月 =		円 = 補助申請額
	※家賃の半額が5,000円に満たない場合は、実費の半額により補助金額を算定します。 (1,000円未満は切り捨てになります)		
奨励金交付に必要な税関係情報の記録、住民記録および他制度との併願申請等を市長が調査することに同意します。			

添付書類

1. 交付申請月までの家賃の支払い(12ヶ月分以上)が証明できるものの写し
 ※領収書, 金融機関などの振込受付票, ATMからの振込明細書, 通帳のコピー等支払内容が分かるもの。
 ※通帳のコピーを添付する際は, 表紙のコピーも併せて提出してください。
2. 令和2年度分の納税証明書 [市税に滞納がないことの証明]
 ※令和2年1月1日現在居住地(事業所所在地)における証明書が必要です。
 ※住民票に記載のある18歳以上の世帯員全員が証明書提出の対象です。
 ※非課税であった場合には非課税証明書が必要です。
3. 交付請求書+通帳の表紙裏面のコピー
 ※交付請求書には住所, 氏名, 口座情報のみ記入してください。

空き家有効活用家賃補助金交付請求書 (回目)

(あて先)小松市長

申請者 住所

氏名

印

電話

年 月 日付け小松市指令第 号 で確定通知のあった空き家有効活用家賃補助金について、空き家有効活用家賃補助金交付要綱第8条の規定により、下記の金額を請求します。

記

請求額 金 _____ 円

口座	金融機関名	(銀行・信用金庫等)	(支店・出張所等)
	預金種目	1普通 2当座 3貯蓄預金	
振込先	口座番号		
	口座名義(カナ)		

- ※振込先は申請者名義のものに限ります。
- ※通帳に記載されているカナを明記してください。
- ※通帳表紙の裏面見開きのコピーを添付してください。